

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月7日

上場会社名 株式会社ビー・エム・エル

上場取引所 東

コード番号 4694 URL <http://www.bml.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荒井 裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員経営企画部長 (氏名) 福田 和太

TEL 03-3350-0111

四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	20,351	2.9	2,046	17.0	2,112	14.9	1,149	20.1
21年3月期第1四半期	19,787	—	1,748	—	1,838	—	956	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	54.14	54.03
21年3月期第1四半期	45.08	45.01

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	63,548	42,263	65.5	1,960.23
21年3月期	62,809	41,482	65.0	1,924.01

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 41,603百万円 21年3月期 40,835百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	12.50	—	17.50	30.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	40,000	2.3	3,300	2.0	3,420	1.1	1,750	3.2	82.45
連結累計期間	79,300	2.7	5,800	3.7	6,020	3.0	3,120	1.5	147.00

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
〔注〕詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
② ①以外の変更 無  
〔注〕詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- |                      |             |             |             |             |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  | 22年3月期第1四半期 | 22,007,363株 | 21年3月期      | 22,007,363株 |
| ② 期末自己株式数            | 22年3月期第1四半期 | 783,464株    | 21年3月期      | 783,464株    |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第1四半期 | 21,223,899株 | 21年3月期第1四半期 | 21,224,029株 |

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため実際の業績は、様々な要因の変化によって予想数値とは異なる場合があります。ご承知おき下さい。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

医療業界は、高齢化の進行や医療技術の進歩を背景に国民医療費が過去最高を更新する中で、政府による医療費抑制策や医療の効率化に向けた各種制度改革が実施されています。また、医療機関においては、昨今の経済情勢の悪化により経営環境は厳しく、効率化に向けた対応が求められています。

当期の受託臨床検査業界は、2年毎に実施されている診療報酬改定の年度には当たらず、検体検査に係る保険点数（公定価格）の引き下げがなかったことから、受託価格は安定して推移しています。一方、昨年4月に始まった特定健診（メタボ健診）については、受診率が目標を大きく下回り今後も先行きは不透明な状況です。

こうした環境の下、当社グループは、臨床検査事業につきましては、引き続きクリニック市場に重点を置いた営業展開によりシェア拡大を図ると共に、大型施設へのFMS/ブランチラボ方式（検査機器・システムなどの賃貸と運営指導/院内検査室の運営受託）による提案営業により、事業基盤の拡大を図りました。こうしたことから当四半期の検査数量は順調に増加し、同事業の売上高は前年同期比4.2%増加しました。利益面においても、増収と数量効果や、前年同期に発生したM&Aに伴う業務統合費用などがなくなり、粗利益が大幅増加しました。また、検査受託体制の合理化として行なっている地域ラボの統廃合については、当四半期において、高松ラボを地元検査センターへの外注化により閉鎖しました。更に、前期にBML総合研究所にて完成した自動分注の新システム（新フロンティア）の稼働により、処理能力が大幅に向上したことから、ノンリア項目の翌日報告サービスの拡充を図りました。

その他検査事業に属する食品衛生事業につきましては、(株)BMLフード・サイエンスが、景気悪化によるクライアント企業の経費絞込みの影響等により、食品衛生コンサルティングを中心に受託が減少し、損益面でも大幅な減益となりました。なお、昨年9月に買収した(株)Q&Cが連結対象子会社に加わっているため、事業部門全体の売上高は、ほぼ前期並みとなっています。

医療情報システム事業につきましては、営業の効率性を高めるため期初より臨床検査事業と医療情報システム事業が一体となった営業活動を展開しています。当四半期での診療所版電子カルテ「メディカルステーション」（以下「MS」という。）の販売件数は、新規開業を中心に72施設（前年同期比12施設減）となりました。また、既存ユーザーのリプレースについては、サーバーを中心に26施設に対しリプレースを行ないました。同事業の損益につきましては、前期より黒字化しており、引き続き黒字基調を維持しています。

その他事業につきましては、SMO/CROを営む(株)アレグロが、前期の落ち込み後回復が鈍く受託が低調に推移し、売上高で前年同期比33.2%の減少、損益面でも若干の赤字となりました。

これらの結果、当第1四半期の連結業績は、売上高20,351百万円（前年同期比2.9%増）、営業利益2,046百万円（前年同期比17.0%増）、経常利益2,112百万円（前年同期比14.9%増）、四半期純利益1,149百万円（前年同期比20.1%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1)資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期の連結財政状態は、総資産63,548百万円（前年度末比738百万円増）、純資産42,263百万円（前年度末比781百万円増）、自己資本比率65.5%（前年度末比0.5%増）となっています。主な増減科目は、資産では、流動資産が、売上債権の増加により1,028百万円増加しています。また、純資産では、利益剰余金が、777百万円増加しています。

(2)連結キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物の残高は、前年同期に比べ912百万円増加し、11,251百万円となりました。各活動区分別のキャッシュ・フローの状況及び主な増減要因は、以下の通りです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,370百万円の資金収入（前年同期比521百万円増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が280百万円増加したことや減価償却費が232百万円増加したことなどによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,007百万円の資金支出（前年同期比787百万円減）となりました。これは主に、検査機器の購入などの有形固定資産の取得による支出が386百万円、無形固定資産の取得による支出が238百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、437百万円の資金支出（前年同期比62百万円減）となりました。これは昨年行なった長期借入金の返済が、当期はなかったことなどによるものです。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間並びに通期の連結業績予想につきましては、期初の予想を変更しておりません。

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
固定資産の減価償却費の算定方法  
定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
会計処理基準に関する事項の変更  
システム開発の請負に係る収益の計上基準については、従来、検収基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を当第1四半期連結会計期間より適用し、当第1四半期連結会計期間に着手した請負契約から、当第1四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる請負については工事進行基準(進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の請負については検収基準を適用しております。  
これによる損益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,048,350	12,029,899
受取手形及び売掛金	15,090,394	13,968,896
商品及び製品	178,951	154,543
仕掛品	440,328	394,830
原材料及び貯蔵品	1,010,546	985,117
その他	1,462,822	1,677,157
貸倒引当金	△58,711	△65,867
流動資産合計	30,172,681	29,144,577
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,969,157	10,150,754
土地	10,736,226	10,727,959
その他(純額)	5,531,901	5,464,576
有形固定資産合計	26,237,285	26,343,289
無形固定資産		
その他	3,500,920	3,540,853
無形固定資産合計	3,500,920	3,540,853
投資その他の資産		
その他	3,708,963	3,852,081
貸倒引当金	△71,783	△71,261
投資その他の資産合計	3,637,180	3,780,819
固定資産合計	33,375,386	33,664,963
資産合計	63,548,068	62,809,540

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,095,033	8,543,535
短期借入金	946,500	951,500
未払法人税等	520,083	1,548,799
その他	6,110,439	5,617,946
流動負債合計	16,672,056	16,661,782
固定負債		
退職給付引当金	3,206,094	3,123,460
役員退職慰労引当金	136,724	132,373
その他	1,270,029	1,409,789
固定負債合計	4,612,848	4,665,622
負債合計	21,284,904	21,327,404
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,045,586	6,045,586
資本剰余金	6,647,010	6,647,010
利益剰余金	30,131,144	29,353,522
自己株式	△1,268,830	△1,268,830
株主資本合計	41,554,909	40,777,288
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	48,819	57,775
評価・換算差額等合計	48,819	57,775
新株予約権	39,963	39,963
少数株主持分	619,470	607,109
純資産合計	42,263,163	41,482,135
負債純資産合計	63,548,068	62,809,540

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	19,787,745	20,351,970
売上原価	12,214,930	12,500,341
売上総利益	7,572,815	7,851,629
販売費及び一般管理費	5,824,460	5,805,463
営業利益	1,748,354	2,046,165
営業外収益		
受取配当金	—	27,353
不動産賃貸料	11,520	12,327
受取ロイヤリティー	32,211	—
その他	61,197	43,403
営業外収益合計	104,929	83,084
営業外費用		
支払利息	5,878	8,040
不動産賃貸原価	5,775	5,530
その他	2,692	3,114
営業外費用合計	14,346	16,686
経常利益	1,838,938	2,112,564
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	6,501
受取保険金	—	18,564
前期損益修正益	3,235	—
その他	1,291	2
特別利益合計	4,527	25,068
特別損失		
固定資産除却損	27,997	40,682
減損損失	58,728	—
弔慰金	—	50,000
その他	2,497	12,278
特別損失合計	89,223	102,960
税金等調整前四半期純利益	1,754,241	2,034,672
法人税、住民税及び事業税	584,377	548,387
法人税等調整額	192,094	299,044
法人税等合計	776,471	847,432
少数株主利益	21,043	38,199
四半期純利益	956,726	1,149,039

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,754,241	2,034,672
減価償却費	752,738	985,463
減損損失	58,728	—
のれん償却額	71,030	57,553
退職給付引当金の増減額(△は減少)	44,344	83,537
支払利息	5,878	8,040
固定資産除却損	27,997	40,682
売上債権の増減額(△は増加)	△1,150,937	△1,121,497
たな卸資産の増減額(△は増加)	39,653	△95,334
仕入債務の増減額(△は減少)	661,057	551,497
未払消費税等の増減額(△は減少)	155,493	178,329
その他	△283,735	148,998
小計	2,136,489	2,871,942
利息の支払額	△5,736	△7,662
法人税等の支払額	△1,379,490	△1,557,458
その他の収入	97,884	63,916
営業活動によるキャッシュ・フロー	849,147	1,370,737
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,135,815	△749,670
無形固定資産の取得による支出	△407,684	△169,257
関係会社株式の取得による支出	△191,667	—
貸付金の回収による収入	7,230	2,500
その他	△66,919	△90,671
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,794,857	△1,007,099
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	△63,087	—
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△5,000
長期借入金の返済による支出	△112,800	—
配当金の支払額	△318,360	△371,418
その他	△6,299	△61,277
財務活動によるキャッシュ・フロー	△500,547	△437,696
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,446,257	△74,057
現金及び現金同等物の期首残高	11,785,906	11,325,911
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,339,648	11,251,853



(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）  
該当事項はありません。

6. その他の情報

販売の状況

検査区分		前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)		増減率(%)
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
検査事業	臨床検査事業					
	生化学的検査	7,996,327	40.4	8,479,518	41.7	6.0
	血液学的検査	1,672,941	8.5	1,692,327	8.3	1.2
	免疫学的検査	4,230,585	21.4	4,263,648	21.0	0.8
	微生物学的検査	1,064,373	5.4	1,107,328	5.4	4.0
	病理学的検査	1,196,549	6.0	1,283,280	6.3	7.2
	その他検査	1,782,604	9.0	1,870,550	9.2	4.9
	その他検査事業	728,673	3.7	734,131	3.6	0.7
	検査事業小計	18,672,055	94.4	19,430,786	95.5	4.1
医療情報システム事業		977,367	4.9	828,730	4.1	△15.2
その他事業		138,322	0.7	92,454	0.4	△33.2
合計		19,787,745	100.0	20,351,970	100.0	2.9

(注)金額には、消費税等は含まれておりません。